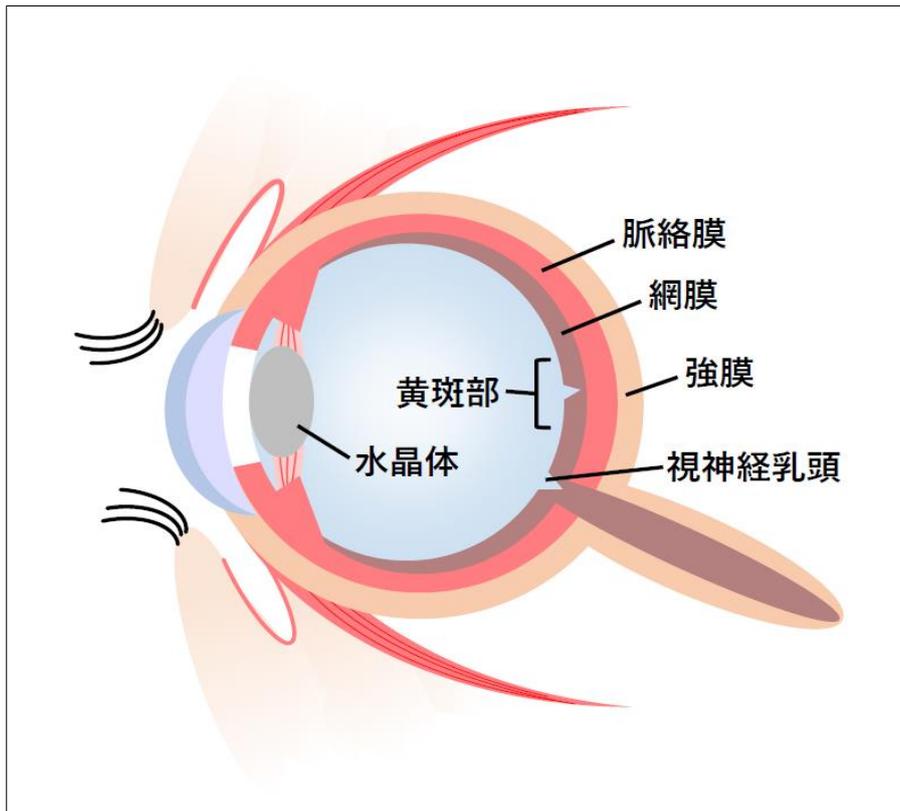


～ 眼底検査 ～



高血圧性変化有り

高血圧により眼底の血管に異常が引き起こされている状態です。
軽度では一般的に自覚症状がありません。

動脈硬化性変化有り

網膜の血管で動脈硬化による変化が起こっており、それ以外の血管でも
動脈硬化が進行していると考えられます。
症状として目のかすみや視力の低下があげられます。

白内障等の疑い

目の中のレンズの役割を担っている水晶体が濁り、視力障害やかすみ目が生じます。
症状が進行すると濁りにより入ってきた光が乱反射し、光がまぶしく感じます。

視神経乳頭陥凹拡大

視神経乳頭の中央部分の凹みが大きい状態です。
病的な場合と先天性の場合があります。

網膜出血

網膜の血管が破れ、網膜やその周囲に出血が起こっている状態で、
糖尿病や高血圧などが原因の場合があります。
網膜の出血は外から見ても分からず、部位によっては自覚症状ありません。

軟性白斑

糖尿病や高血圧などが原因の場合があり、網膜の毛細血管が
詰まり虚血状態になった時にみられます。

近視眼底

近視により眼球壁(強膜、脈絡膜、網膜)が引き延ばされるため
網膜が薄くなり、脈絡膜の血管が透けて見えます。

加齢黄斑変性

物を見るために重要な役割を担っている黄斑部が加齢とともに性質が変化します。
日本の失明原因の4位となっています。
症状として物が歪んで見える、視野が欠ける、視力の低下などがあげられます。

網膜静脈分枝閉塞症

網膜の静脈の一部が閉塞して血流が途絶えている状態です。
高血圧や動脈硬化、緑内障などが原因の場合があります。
眼底出血や網膜浮腫が起こり、視力の低下や目のかすみ、視野狭窄などが生じます。